

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

Team Kawasaki R&D

IA1 #5

能塚 智寛選手

IA1クラスでの優勝と

チャンピオン獲得が目標です!!



カワサキにお帰りのなさいな能塚選手です。何年ぶり? ホンダに移籍したのが2016年ですから6年...ですかね。デビューのときから地元チームのモトボーイ所属だったよね? そうですね。IA2ルーキーでいきなり表彰台が上がったり優勝しちゃうって... ところで去年の最終戦、第2ヒートは怪我で走らなかつたけど? ヒート1で足を痛めて。甲の捻挫がなかなかいい感じだったんですけど、検査したら剥離骨折も見つかった... ステップに1番体重がかかる場所だから最終戦から1回も乗ってなくて... バイクに乗り始めたのが3月で、正直なんとか間に合ってた感じで。ギリギリだ。去年IA1クラス1年目で今年からカワサキワークスに移って、シーズンオフにいろいろやることがあったと思うけど... そこはカワサキワークスですね。事前に要望は伝えてあったんですけど、しっかりとバックアップしてもらって、タイヤ(ダンロップ)とサス(SHOWA)が同じのも良かったし、初乗りのときからほぼ自分が望んだ仕様で仕上がっていました。不安はない?

カワサキで1番のポジションですからね。会社を背負うという意味でももちろんプレッシャーはあります。でも、チームのみんなは全くそんな雰囲気を出さないし、スタッフ、メカニックがボクに100%集中してくれる環境なんで、それはすごく嬉しいしやり甲斐を感じています。今年は開幕戦が15分+1週のトリプルヒート。スタートから最後までずっと全力出し続けると、3ヒート目とかめっちゃキツいんですけど、30分フルだと終盤バテる自信しかないから、間違いない自分には合ってますね(笑)。ただ、HSRはコースが長い分周回数は少なくなりますよね。次の周あそこをなんで組み立ては出来ないだろうし、1周目から全力勝負になると思う。ラインを変えるのは得意だし、やれると思います!

どんなシーズンを予想していますか? 鯨くん、富田さん、祐介、小方さん...他にも何人かトップ争いをするライダーはいると思いますけど、この5-6人との勝負になると思っています。みんな手強いけどレースになればわからないし、とにかく勝ちたいですね(笑)。IA1初優勝...したいよね? 初優勝もちろん大事ですが、カワサキにとってIA1のタイトルって、マタセビッチまで遡らないとなんてですね。開幕勝って、そこから全勝してチャンピオンになるつもりです!! 大きく出たね。当然です。ところで今拠点は? 去年までは福岡にいたんですけど、京都の長岡京市ってところに家族3人で引っ越しました。京都からだとか割と近くに行くつもコースがあって、遠征も便利になって? ヨーロッパ行ってた時を思ったら、日本国内はどこにいても一緒ですけどね(笑)。最後に地元...でいいよね? ファンのみなさんに。もちろん地元です。えーと、コロナで制約ばかりなんですけど、そんな中で、いろいろと自分から発信していけるよう準備しています。 http://chihiro-notsuka.com/ をぜひ見てください。そして10月の第6戦は、チャンピオン争いをリードして帰ってくるんで、それまでボクが何勝してるか、みなさん期待してくださいね!!

コロナ禍に負けるな! レースの元気を九州から!!

かつてはモトクロスが盛んな地域として知られた九州ですが、左のインタビューで能塚選手も言っている通り、ここ数年はやや寂しいと言わざるを得ない状況。それでもコロナ禍に耐えて数多くの九州勢が地元大会にエントリーしています。

去年に引き続き大きな声を出しての応援やバックにライダーを訪ねて声をかけたりということも NG となっていますが、ライダーたちは常にコースサイドのお客さんの気持ちを感じ取っています。腕や旗を振ったり拍手を送ったり、心に秘めた熱い気持ちを地元で気合の入るライダーたちに送ってください。

というわけで応援に欲しい地元ライダーと言えば、IA1クラス2年目、ホンダからカワサキワークスに移籍した能塚智寛選手 (#5) が福岡県小郡市出身。

若手中心の IA2 クラスでは、現在福岡の大学で機械工学を学ぶ森優介選手 (#22/ホンダ) が、お隣菊池市出身。那須伊雪選手 (#33/ヤマハ) は、IB Open クラス優勝候補の弟那須愛斗選手 (#59/ヤマハ) と共に宮崎県都城からエントリー。IB Open クラスには元全日本チャンピオン溝口哲也さんの長男溝口寿希也選手 (#36/カワサキ) が全日本デビューを果たしています。

なお地元企業合志技研の開発ライダーとして参戦していた石浦諒選手 (#16/ホンダ) は、怪我のため現在復帰に向けてリハビリ中。代わって IA1 クラスの大塚豪太選手 (#7/ホンダ) が、T.E.SPORT with GOSHI というコラボチームで参戦します。

LMX、IB Open、ジュニアクロス、特にチャイルドクラスには地元ライダーが大勢出場しています。そんな中で右の一言コメントに登場してくれた LMX クラスの高原央選手 (#36/カワサキ) は、チャイルドクラスに長男の高原琉生選手 (#61/カワサキ) がエントリーしていて、親子での全日本参戦を果たしています。

更に IB Open クラスとジュニアクロスには沖縄のライダー、IA、IB Open には北海道から遠征して来たライダーの名前もあります。公式プログラムのエントリーリストには出身地やチーム名が記載されているので、事前にしつかりとチェックして、コースサイドから地元ライダーへの熱い応援をぜひお願いします。

2021年シーズンスタート!、初戦からIA1は決勝3ヒート!

Illustration of riders and their stats for the 2021 season. Includes names like 山本 鯨, 富田 俊樹, 渡辺 祐介, etc., and their performance in various rounds.

VOICE CONTROL

レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

- IA1 #1 山本 鯨選手: ライダーとしてやるべきことはどのレースも同じですが開幕戦はいつも新鮮だし大きな意味を持つ。プレッシャーもかかるが周りの協力を得て全力を出したい。
IA1 #2 富田俊樹選手: ヤマハ2年目でバイクも熟成出来たし体調もいい。準備万端。去年勝てたレースだし何も考えず行きたい!!
IA1 #3 渡辺祐介選手: 去年ランキング3位で悔しい思いをした分オフからマシン、体を100%に上げてきた。去年と同様に激しいレースになると思うが、競り勝てるよう頑張ります。
IA1 #20 古賀太基選手: 今年はお世話になったBOSS RACINGのアドバイザーとして会場にいます。チャンスがあったらレース復帰したいと思っています。
IA2 #22 森 優介選手: 年末に膝を手術して、この1ヶ月集中して乗り込んできた。プレッシャーはないので伸び伸び走れると思っています。
IA2 #33 那須伊雪選手: IA2クラス2年目。地元での開幕戦だし結果を残して盛り上げたい。
IA2 #43 古賀 翼選手: 今年はワクワクしながら乗るのが目標。気負い過ぎずにめっちゃ目立てるようなレースをします。九州No.1チームMOTION RACINGの応援もよろしくお願いします。
LMX #22 高原 央選手: 息子が主役ですが、去年の最終戦に続きLMXとCX、親子で参戦します。主人も義弟の秋斗も相変わらず乗ってるし、ほんとにモトクロス大好きな家族。親子で楽しめて、一緒に全日本に参戦出来る環境をいただいて本当に幸せです!!

JMX & WMX CATCH UP

2020 IA1クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with columns: 順位, No., ライダー, マシン, Rd.1 SUGO, Rd.2 近畿, Rd.3 SUGO, Rd.4 中国, Rd.5 九州, Rd.6 関東, Total, 勝利数. Lists top riders like 山本 鯨, 富田 俊樹, etc.

新型コロナウイルスの影響で異例の8月開幕、全4戦で行われた2020シーズン、IA1クラスは山本が開幕3連勝でシーズン好スタート、渡辺、成田が九州で山本の連勝を阻止するも、IA1クラスにのみ初めて採用されたトリプルヒートを含め、毎戦表彰台圏内で確実にポイントを積み重ねた山本が、最後は有終の美を飾って連覇を達成した。

2020 IA2クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with columns: 順位, No., ライダー, マシン, Rd.1 SUGO, Rd.2 近畿, Rd.3 SUGO, Rd.4 中国, Rd.5 九州, Rd.6 関東, Total, 勝利数. Lists top riders like 横山 遙希, 大城 魁之輔, etc.

チャンピオン横山が、開幕SUGOの第1ヒートこそオープニングラップの転倒で5位に甘んじると、以降はライバルを完全に圧倒。第6戦関東大会の第1ヒートでは、スタートで大きく出遅れるもほぼ最後部から全員を抜き去る気迫の走りでもちろん連覇を達成した。IB Openクラスはシーズン3勝をマークした福村が、LMXは川井が史上初の全勝優勝という快挙で初の栄冠に輝いた。

from DIRT to DIRT (泥んこ取材記)「今年は海外取材に行けるかなあ!」

新型コロナウイルスのパンデミックが日本以上に深刻なヨーロッパ。世界選手権モトクロスはつい先日2度目のスケジュール変更を発表し、開幕戦を7月に延期。それでも国別対抗戦ネイションズを含め全20戦の開催が予定されています。最終戦はインドネシアの2連戦。ここでチャンピオンが決まる公算が大きいし、早く取材に行けるようになるといいいな。ちなみに左の写真は、3月1日に地元埼玉の小学校で特別講演を行った山本 鯨選手。校庭でのデモ走行の後、大勢の子供たちを前に海外で身に付けたコミュニケーション力の大切さを熱弁していました。

MACH1 A CROSS YAMAHA FACTORY RACING TEAM IA1class #3 渡辺 祐介選手

HSR Honda Safety & Riding Tel.096-293-1370

GREEN SHADOW FURUKAWA 吉野ケ里本店 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田938-5

Kawasaki PLAZA 佐賀県唯一のPLAZA店 「カワサキプラザ鳥栖」 3月18日に グランドオープン!!

後D.I.D DIRTSTAR/STX STRONG MX RIM 軽D.I.D DIRTSTAR/LTX LIGHT MX RIM